

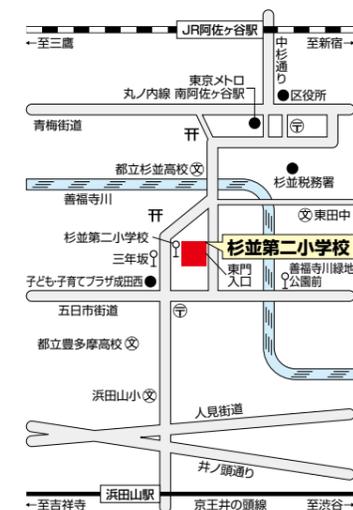


杉並区立 杉並第二小学校



【施設概要】

- 名称 杉並区立杉並第二小学校
- 所在地 東京都杉並区成田西三丁目4番1号
- 敷地面積 10,928.04㎡
- 建築面積 3,395.23㎡
- 延べ面積 8,859.99㎡
- 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
- 工期 令和3年12月7日～令和5年12月28日
- 設計監理 株式会社 石本建築事務所
- 建設業者
建築工事：渡辺・佐藤・興信・松木建設共同企業体
電気設備工事：協信・杉本建設共同企業体
給排水衛生設備工事：吉田・ユーダイ建設共同企業体
空調和設備工事：峯尾・セントラル建設共同企業体
昇降機設備工事：株式会社 日立ビルシステム



みどり豊かな 住まいのみやこ

やさしくなる しあわせになる

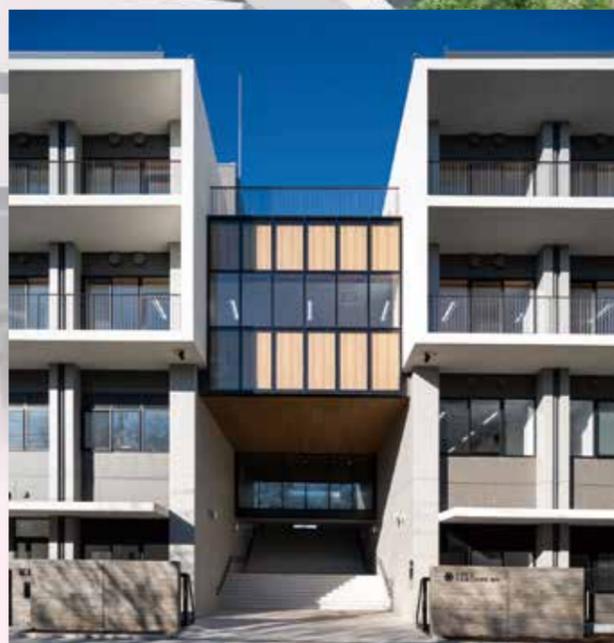
杉並第二小学校

杉並区立杉並第二小学校は、昭和36年に建設した一番古い校舎が築60年近くとなり、既存校舎の老朽化に伴い、平成30年度に策定された杉並区実行計画に基づいて改築することとなりました。改築にあたっては、子どもたちのより良い教育環境や地域の拠点となる学校の実現に向けて学校関係者や保護者、地域住民、学識経験者による懇談会で議論を重ね、設計をまとめました。

配置計画では、敷地西側が東側より約6mの高低差があることを考慮し、南東に校舎を配置することで擁壁が極力周辺に現れない造りとするとともに、校庭面積を確保するなど、敷地の特性を有効活用した計画としました。また、東側に正門と大階段を配置することで、敷地東西を結ぶ新しい動線をつくり、学校と善福寺川緑地とのつながりを生み出しました。地下1階(東側道路からは高低差無しで出入可能)には学童クラブや、成田西災害備蓄倉庫を一体整備し、施設の複合化を図るとともに、1階には開放会議室を設けて、地域に開かれた計画としました。また、プールを校舎最上階に配置することで、周辺からの視線や、騒音等の影響に配慮するとともに、敷地の有効活用を図りました。あわせて、震災救援所運営用に物資保管をしている学校防災倉庫をアリーナ、校庭(令和7年度完成予定)と近接した場所に設けることで、災害時の活動にも配慮しました。

平面計画では、学童クラブを地下1階、地域開放する機能を1階西側に配置することで、利用者動線を分離し、セキュリティを明確にすることで、管理しやすい計画としています。2階、3階は普通教室を主に配置しており、学年ごとに教室をまとめて配置することで、教室前の廊下が他学年の通過動線にならない計画としました。また、普通教室前に多目的スペースを設け、学年集会や児童同士の交流の場として活用できるよう計画しました。

環境配慮としては、屋上緑化や雨水利用、太陽光パネル等を設置することで環境負荷の低減を図る計画としています。また、防災機能としては、今後行う環境整備工事において防災井戸やマンホールトイレを設け、地域の防災拠点としての機能充実を図る予定です。



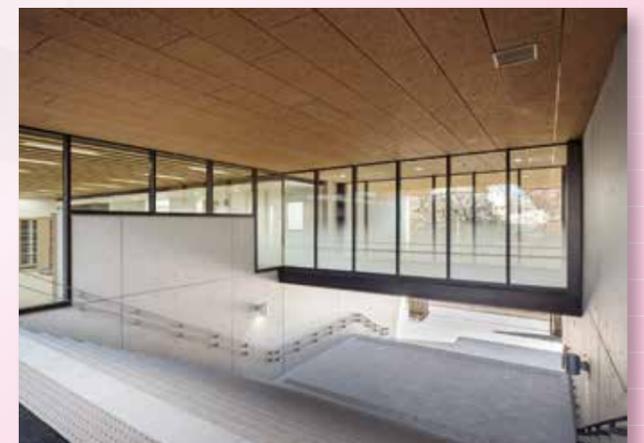
善福寺川緑地からみた正門(東門)



正門からの大階段



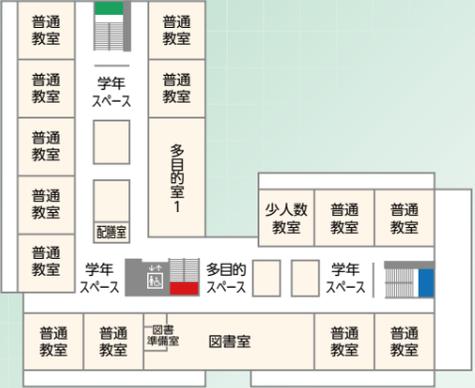
理科室に面したバルコニー



善福寺川緑地が見渡せる渡り廊下



2F



多目的スペース



赤階段



学年スペース



図書室

3F



普通教室

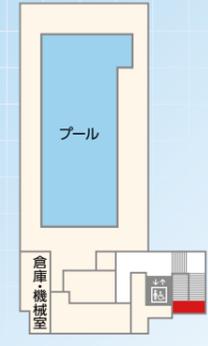


緑化テラス



多目的室

4F



プール

B1



音楽室



学童クラブ 入口



給食室



学童クラブ 育成室



成田西災害備蓄倉庫